

寒さがより一層厳しくなりました。今月もまた、たくさんの方へ行き、築上町ならではの文化を経験しました。

まず声を大にして皆さんに紹介したいのは、現在僕が住んでいる、下香楽の「円座餅つき」です。僕は幸せなことに、2回参加できました。1回目は、築上町神楽民俗芸能祭で、2回目は、真の本番の12月第一週日曜日に聖地・下香楽公民館で行われたものです。

築上町の皆さんの中にはこの「円座餅つき」をご存知無い方もいらっしゃると思います。「円座餅つき」は、正徳6年（1716年）には確実に行われていた行事で、秋祭の神餅をつく時に、「われも、われも」と大勢がありあわせの棒でついたという事に始まります。男衆が締め込み姿で勇ましく臼を奪い合います。本番までには多くの準備を要し、僕も少しだけお手伝いしました。本番直前には、皆さんでお酒を酌み交わし、土気を高め、寒空の下、臼を奪い合います。見ている方々は、その迫力に圧倒されます。つき手もとにかく気合いが入り、もの凄く面白いです。そんな下香楽が誇る「円座餅つき」ですが、「つき手不足」「後継者不足」という、大きな問題も抱えているようです。この文化を絶やさないようにして欲しい、したい！と思います。「円座餅つき」は本当に一見の価値あります。

続いて、真如寺で経験した、「お莊嚴（しょうごん）」作りです。年末にお寺で行われる祭に飾るために作るものですが、そも

そも「仏像や仏堂を美しく飾る」という意味で、おそらく仏具を象ったものをお餅を使って作ったのだと思います。左の写真をご覧ください。たどくと分かりますが、白い部分は小さなお餅です。初めて見ました。またしても興味深い文化に触れました。

そして、待ちに待った「牡蠣」の季節がやってきました。東日本大震災ボランティアにて、携わった地域が「種牡蠣」の産地であり、この季節を待ち望んでいました。築上町の「牡蠣」のお手伝いに行き感じたことは、「こちらの牡蠣もつまい！」ということ。小ぶりですが甘みがあり、本当に美味しいです。意外な所で、宮城との繋がりを感じ、なんだかとても嬉しいです。皆さんも、この美味しさを味わってください！

ということで、お正月を築上町で過ごせることを幸せに思いながら、今年の振り返りをしつつ、残りの任期を精一杯活動させていただきます。



▶お莊嚴作り



▶円座餅つき

児童館からのお知らせ

<わくわくチャレンジ教室>

○「新春お年玉くじ」

日時 1月4日（土） 10:00～
対象者 児童先着100人
※なくなり次第終了

○「作って遊ぼう」

日時 1月13日（月） 13:00～15:30
材料費 ①プラバン 1回30円
②粘土細工 1回50円から

○「竹パン教室」

日時 1月25日（土） 10:00～12:00
講師 宗 晶子氏（築上町男女共同参画ネット代表）
対象者 小中学生10人
材料費 200円
持参する物 エプロン、バンダナ
申込期限 1月18日（土）

<子育て支援センター>

○紙粘土で干支を作ろう

日時 1月17日（金） 10:30～11:30
場所 築城社会福祉センター
講師 畦津 恵子氏
対象者 未就学時の親子
申込締切 1月10日（金）
材料費 300円 ※要予約（定員12組）

○マジックショーと豆まき会を楽しもう

日時 2月1日（土） 10:30～11:30
場所 児童館
講師 橋本 清氏（築上マジッククラブ副会長）
対象者 未就学児親子
申込期間 1月16日（木）～31日（金）
※要予約

申込・問い合わせ 児童館（57）4300